



ご存知ですか？ 実は「公衆電話」は災害に強い！



公衆電話は停電や 災害時に使える！



「公衆電話」はもしもの備えのひとつ

家族の安否を知りたいのに、携帯電話が繋がらない。そんな時、公衆電話が役に立つかも知れません。街から姿を消しつつありますが、通信規制を受けないため災害時でも繋がりやすい。避難地図に位置を書き込む動きもあります。

公衆電話って？

公衆電話は1900年、東京・上野と新橋の駅構内に初めて設置され、ピーク時の1984年度には全国で93万台余りが設置された。2000年代に携帯の普及が進むと一気に減少。2019年度には約15万台と、20年間で5分の1になった。

公衆電話は災害時に優先的につながる☞災害時優先通信

「災害時優先通信」は、災害の救援、復旧や公共の秩序を維持するため、法令に基づき、防災関係等各種機関等に対し、固定電話及び携帯電話の各電気通信事業者が提供しているサービス。

通常、優先電話は、優先電話からの「発信」が「優先」される。災害等で電話が混み合うと、発信規制や接続規制といった通信制限（大規模災害時は約90%以上の制限が行われることがある）により、通常の電話は被災地からの発信や被災地への接続は制限されるが、優先電話はこうした制限を受けずに発信や接続を行うことができる。

公衆電話は2種類

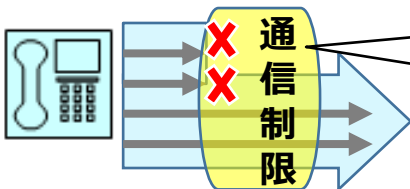
街中の公衆電話には、第1種と第2種があり、減っているのは商業用の第2種の方。第1種は国民生活に不可欠として省令で設置が義務づけられ、市街地では500m四方に1台、それ以外では1km四方に1台設置。

公衆電話が災害時に強い理由

- 警察や消防と同じ「災害時優先電話」に位置づけられ、通信規制の対象外
 - 停電時も、NTT東日本・西日本の通信ビルから電話回線を通じて電力が供給され、使い続けられる。（テレホンカードは使用不可）
- ※公衆電話の設置場所はNTT東日本・西日本の各ウェブサイトを確認できる

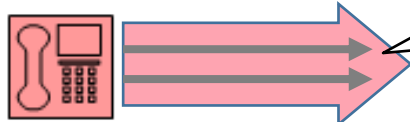
（注意）優先電話は、あくまで電話を「優先」扱いするものであって、必ず繋がることを保証するものではありません。

一般電話



電話が混み合った場合には通信制限を実施し、一部の発信・接続を規制

優先電話



優先電話は通信制限を受けない

東日本大震災のときにおきたこと

公衆電話の存在が見直される契機となったのが、2011年3月の東日本大震災。携帯電話からの音声通信は通常時より最大70～95%制限され、固定電話も繋がらない状況に。そんな中、通信規制を受けない公衆電話に長蛇の列ができた。停電時に使用できるのも強みで、指定エリアでは無料で使える「無料化措置」も取られた。無料化措置は1995年の阪神大震災を機に仕組みが整えられ、2016年の熊本地震などでも実施された。

災害時専用の公衆電話もある

東日本大震災以降は、災害時専用の公衆電話の設置も進む。見た目は家庭の固定電話と変わらないが、市町村などの要請に基づき、避難所となる体育館などにあらかじめ設け、災害時のみ（平時は使用不可）被災者が無料で使えるようにする。2020年度には全国で約8万6000台が置かれ、2011年度の9倍以上になった。



災害時用

意外と知らない!? 公衆電話の使い方・防災時の使い方

【公衆電話の使い方】

通常 受話器 を取る	お金（10円玉か100円玉）か テレホンカードを入れる	ダイヤルする
	緊急通報番号（110＝警察、118＝海上保安庁、119＝消防・救急）をダイヤルする （お金やテレホンカードは不要） ※赤い緊急通報ボタンがある公衆電話は、 ボタンを押してからダイヤルする	

【公衆電話の無料化措置】

災害救助法の適用が想定される規模の災害が発生した場合などは、公衆電話からの通話発信が無料になることがあります。
 ただし、公衆電話が無料で使える場合でも、電話の種類によっては硬貨やテレホンカードが必要になることに注意が必要です。

公衆電話は、若い世代には馴染みが薄い。「電話やメール、SNSなどのインターネット以外で思いつく連絡手段」を尋ねても、公衆電話を挙げる人は少ない。また、小学生では使ったことがない、存在自体知らない、受話器をどう持てばいいかわからない子どもも多いそう。

【アナログ】	【デジタル】
【有】	【無】
緊急通報ボタン（赤いボタン）	
 <p>※緊急通報ボタンイメージ</p>	

災害用伝言ダイヤル「171」

伝言の録音方法



伝言の再生方法



録音は30秒と短いため、伝えるべき内容を端的にまとめておく。
 名前・どこにいるか・けがをしていないか・誰といるかなど
 ※1番号あたり最大20件蓄積可能

※ダイヤル式とプッシュ式で操作方法が異なります。

★災害用伝言ダイヤルとは、災害発生時に安否情報などが声で確認できる「声の伝言板」です。
 全国の一般電話・公衆電話・携帯電話から利用可能！
 普段は使用できませんが、災害発生に備えて利用方法を事前に覚えていただくことを目的として、体験利用ができる提供日が決められているので、事前に試しておくことをおすすめします！

携帯電話の普及により公衆電話の存在感が薄くなってきていますが、大規模災害時には有効な連絡手段として威力を発揮します。

ご家族や身近な人たちと、設置場所や災害時の使い方などを共有しておきましょう！

弊社は損害保険会社8社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。
 現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”
<https://forms.gle/EXCkVdfkxmLLni7u7>



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。